

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2022年4月20日

宮崎県知事

殿

提出者

住 所

青森県上北郡横浜町字林尻102-100

氏 名

日本ホトfarm株式会社
代表取締役 朝山 晃行

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

0175-78-3934

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2021年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本ホトfarm株式会社 宮崎食品工場
事業場の所在地	宮崎県日向市美々津町2277番地
事業の種類	食料品製造業 (09)
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	2021年4月1日～2022年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	32,899 t	全 処 理 委 託 量	5,351 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5,351 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	27,548 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

別紙様式を使用してください。

(第3面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(実施状況報告)

産業廃棄物発生量の目標

別添ー1

	脱水汚泥(t)	廃油(l)	廃プラ(t)	廃アルカリ(t) (血液)	その他(t)
① 産業廃棄物発生量	30,609	2.1	145.0	2,124	18.6
② 自己直接再生利用量	0	0	0	0	0
③ 自己直接埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0	0
④ 自己中間処理量	27,548	0	0	0	0
⑤ 自己中間処理残さ量	3,061	0	0	0	0
⑥ 自己中間処理後再 生利用量	0	0	0	0	0
⑦ 自己中間処理後自 己埋立処分又は海 洋投入量	0	0	0	0	0
⑧ 直接委託及び自己 処理後委託処分量	3,061	2.1	145.0	2,124	18.6

産業廃棄物の種類別発生・処理状況(2021年度実績)

別紙1欄

廃棄物の種類	発生源 〔フローシート 〔No.〕〕	性状	発生量 (基準量) t/年 〔構成比〕	処理方法(現状の工程) —凡例— (中):中間処理 (最):最終処分 ○:自己処理 ●:委託処理
① 汚泥 有機性汚泥	排水処理工程	泥状	3,064 92.713%	有機性汚泥を脱水(中)○ 30,638t/年※1 脱水汚泥を肥料化(最)● 3,064t/年※2
② 廃プラ類	製造工程 〔No.1〕	固形状 (袋) 固形状 (シート)	149.7 0.45%	ポリ袋等を破砕・燃料化(中)● 149.7 t/年
③ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	製造工程 〔No.1～No.2〕	固形状	0.49 0.0015%	再生(0.04t)(中間)● 0.49 t/年
④ 金属くず	製造工程 〔No.1〕	固形状	0.15 0.000%	安定型埋立(中)● 0.15 t/年
⑤ 廃アルカリ (血液)	製造工程 〔No.1〕	液状	2,247 6.798%	発酵堆肥化(中)● 2,246.5 t/年
⑥ 廃油	製造工程 〔No.1〕	液状	6.0 0.018%	廃油を再生(中)● 6.0 t/年
⑦ 廃油(特管)	製造工程 〔No.1〕	液状	0.07 0.000%	廃油を再生(2.2)(中)● 0.07 t/年
⑧ 汚泥・砂利くず(旭ケミカル)	製造工程 〔No.2〕	汚泥	5.29 0.016%	埋立(2.3)(中)● 5.29 t/年
合 計			5,472.2 100.0%	—————

(注) ※1 脱水前の量を示す

(注) ※2 脱水後の量を示す

(実施状況報告)

産業廃棄物発生量

別添一2

	脱水汚泥 (t)	廃プラ (t)	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず (t)	金属くず(t)	廃アルカリ (血液) (t)	廃油(t)	廃油(特 管) (t)	汚泥・砂 利 (t)
① 産業廃棄物発生量	30,639	149.7	0.49	0.15	2,246.5	6.0	0.07	5.29
② 自己直接再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 自己直接埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 自己中間処理量	27,575	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 自己中間処理残さ量	3,064	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 自己中間処理後再 生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 自己中間処理後自 己埋立処分又は海 洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 直接委託及び自己 処理後委託処分量	3,064	149.7	0.49	0.2	2,247	6.0	0.07	5.29

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 脱水汚泥)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 30,639.35

自ら直接再生利用した量
② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0

項目	実績値
①排出量	30,639
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	27,575
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3,064
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	3,064
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した量
④ 30,639

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ 3,063.935

自ら中間処理により減量した量
⑦ 27,575

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 3,064

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 0

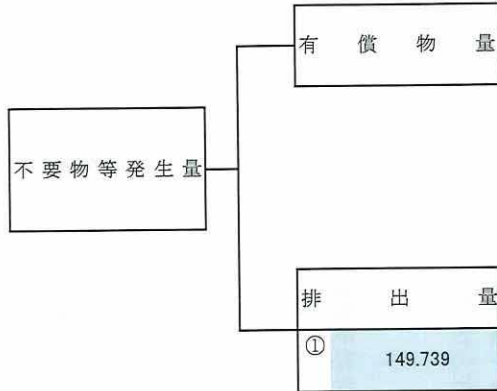
⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 3,064

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0

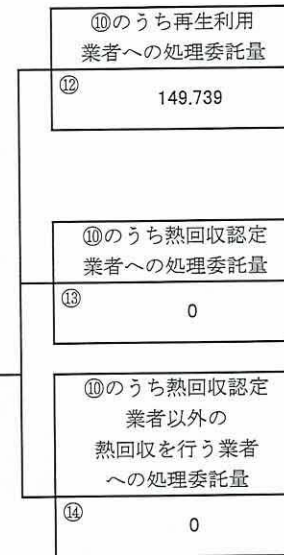
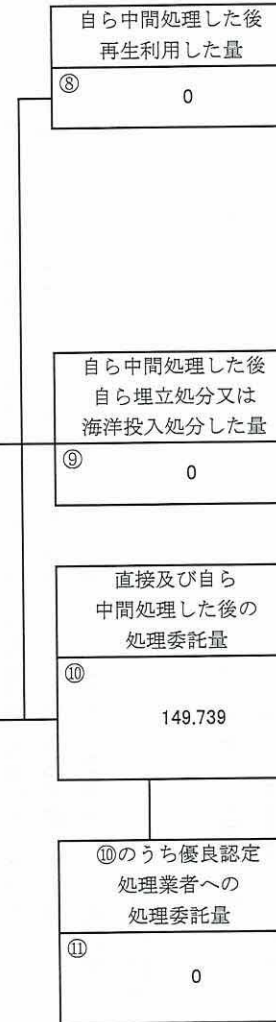
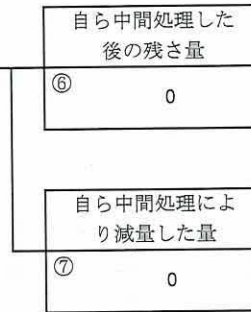
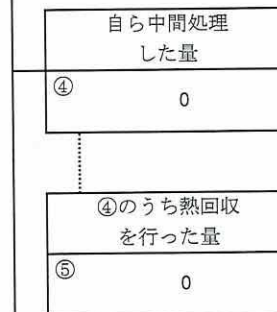
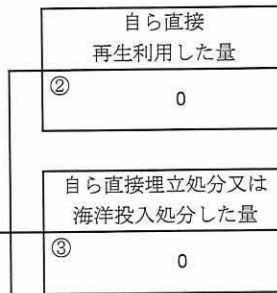
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラ)

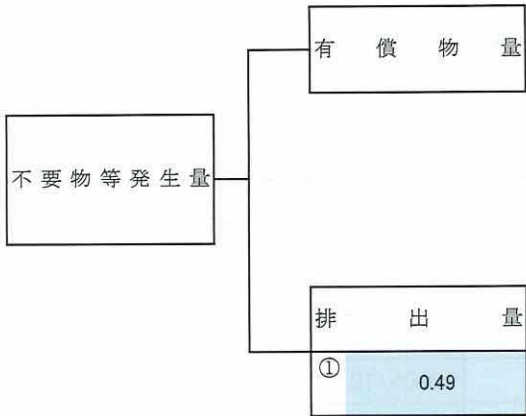


項目	実績値
①排出量	149.739
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	149.739
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	149.739
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



項目	実績値
①排出量	0.49
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.49
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.49
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量
② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0

自ら中間処理した量
④ 0

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ 0

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 0.49

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 0

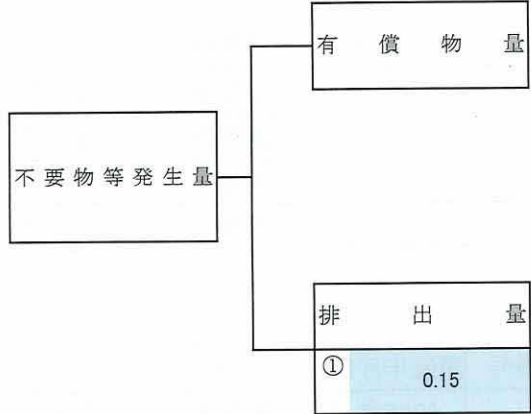
⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0.49

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0

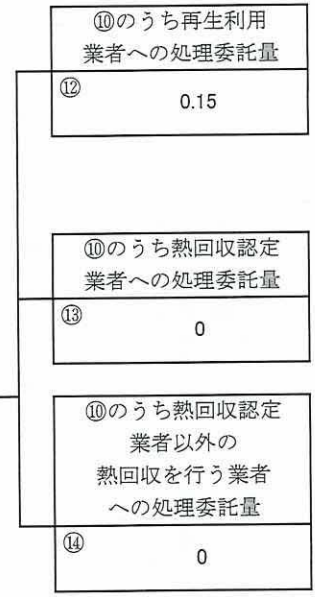
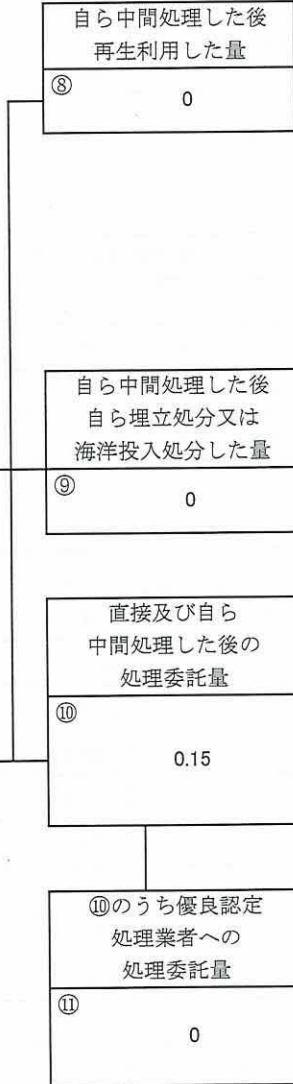
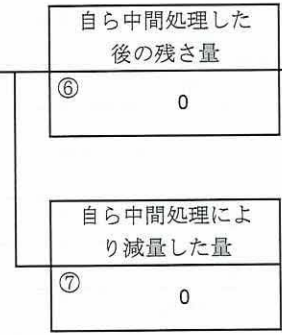
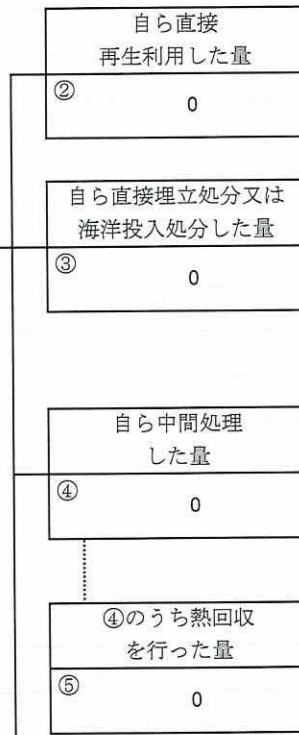
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)

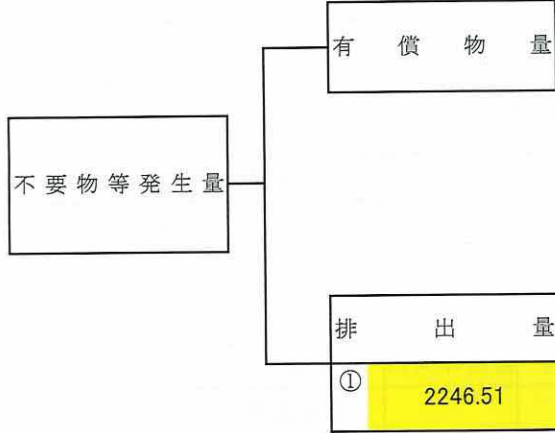


項目	実績値
①排出量	0.15
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.15
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.15
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

(産廃物の種類： 廃アルカリ) 血液



自ら直接再生利用した量
② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0

項目	実績値
①排出量	2,246.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2,246.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	2,246.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した量
④ 0

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ 0

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 2,246.5

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 2,246.5

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0

計画の実施状況

(産廃物の種類： 廃アルカリ) ブライン

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 6

自ら直接再生利用した量
② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0

項目	実績値
①排出量	6.0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	6.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した量
④ 0

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ 0

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 6.0

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 0

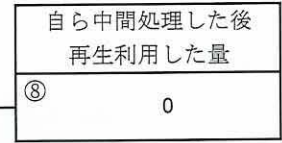
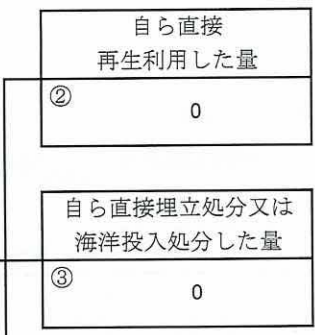
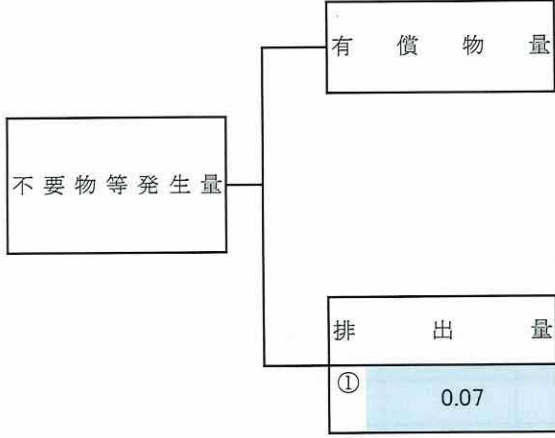
⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 6.0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0

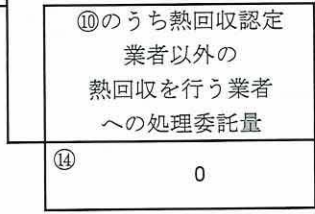
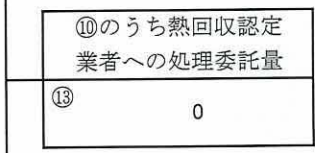
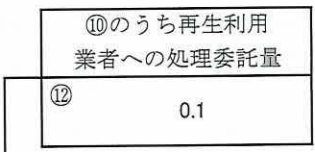
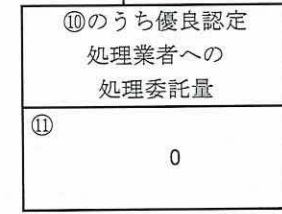
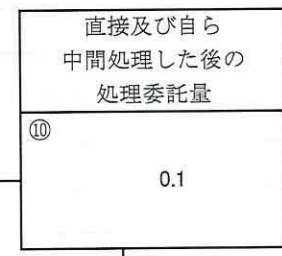
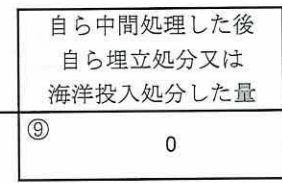
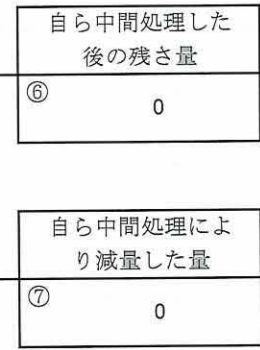
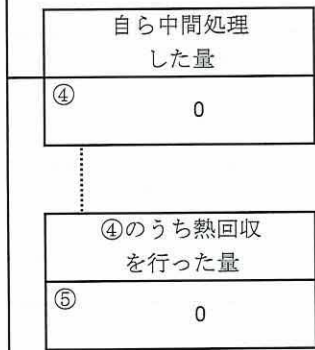
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0

計画の実施状況

(産廃物の種類：廃油、洗浄剤)

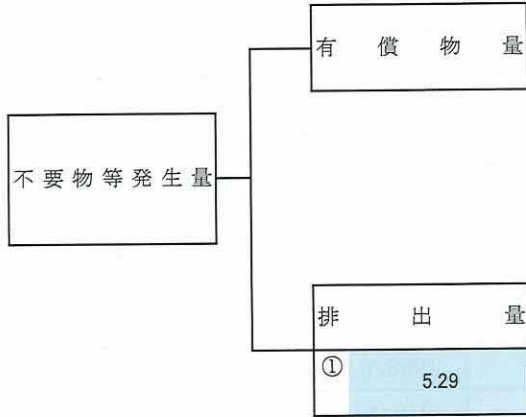


項目	実績値
①排出量	0.1
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

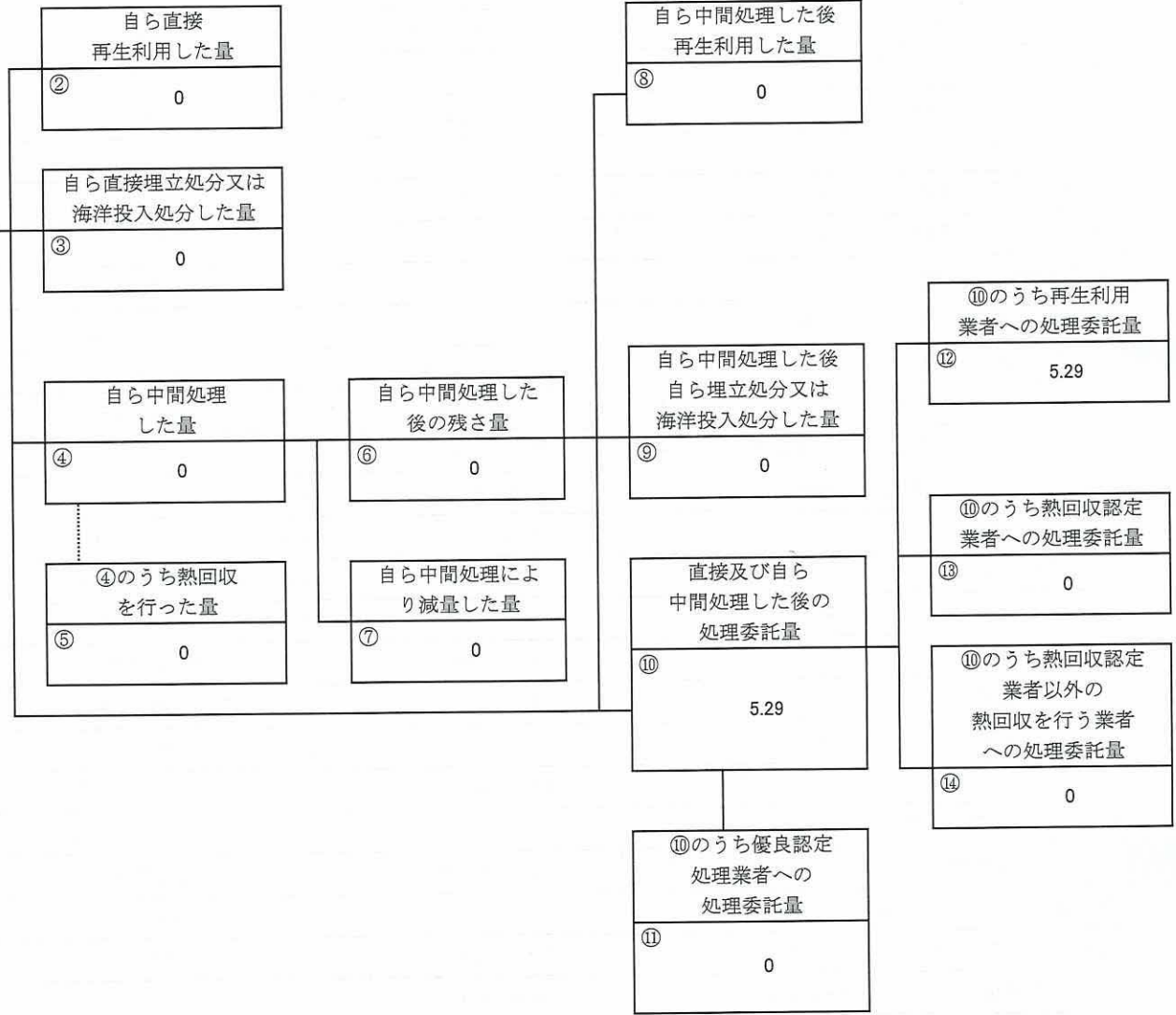


計画の実施状況

(産廃物の種類： 汚泥・砂利くず)



項目	実績値
①排出量	5.29
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5.29
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	5.29
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



(処理計画書)

前年度の産業廃棄物発生量(実績)

別紙-3

	脱水汚泥(t)	クリートくず及	廃油(t)	廃プラ(t)	廃アルカリ (t) 血液	その他 (t) 動植物算 さ、廃油特
① 産業廃棄物発生量	30,639	0.49	6	149.739	2,246.5	5.51
② 自己直接再生利用量	0	0	0	0	0	0
③ 自己直接埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0
④ 自己中間処理量	27,575	0	0	0	0	0
⑤ 自己中間処理残さ量	3,064	0	0	0	0	0
⑥ 自己中間処理後再 生利用量	0	0	0	0	0	0
⑦ 自己中間処理後自 己埋立処分又は海 洋投入量	0	0	0	0	0	0
⑧ 直接委託及び自己 処理後委託処分量	3,064	0.49	6	149.739	2,246.5	5.51

(処理計画書)

産業廃棄物発生量(目標)

別紙-4

	脱水汚泥 (t)	廃プラ (t)	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず(t)	金属くず(t)	廃アルカリ (血液)(t)	廃油(t)	廃油(特 管) (t)	汚泥・砂利 (t)
① 産業廃棄物発生量	29,107	142	0.5	0	2,134	5.7	0.1	5.0
② 自己直接再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 自己直接埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 自己中間処理量	26,197	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 自己中間処理残さ量	2,911	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 自己中間処理後再 生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 自己中間処理後自 己埋立処分又は海 洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 直接委託及び自己 処理後委託処分量	2,911	2	1.8	145	2,100	2.7	2.7	2.7

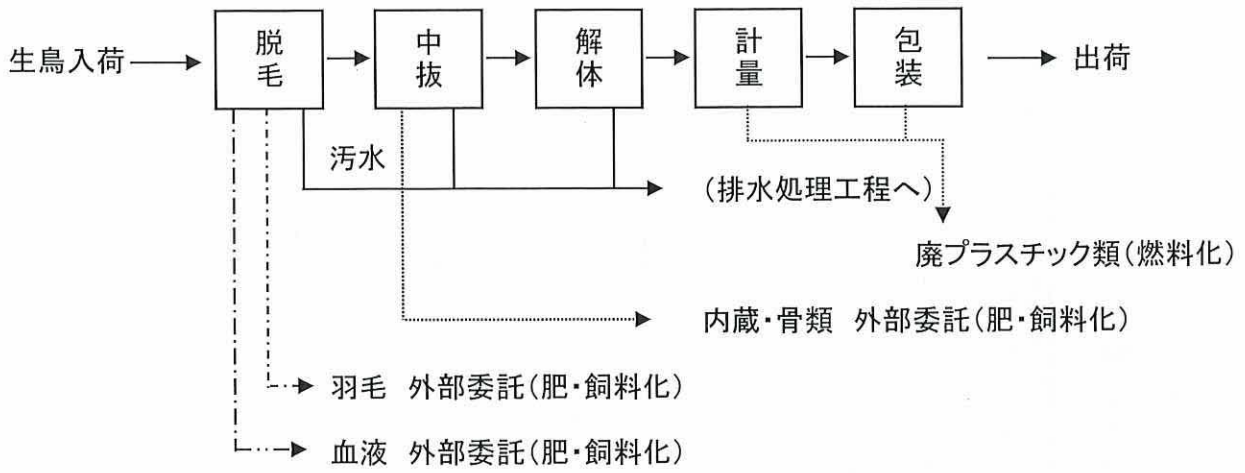


図1 ブロイラー処理フローシート

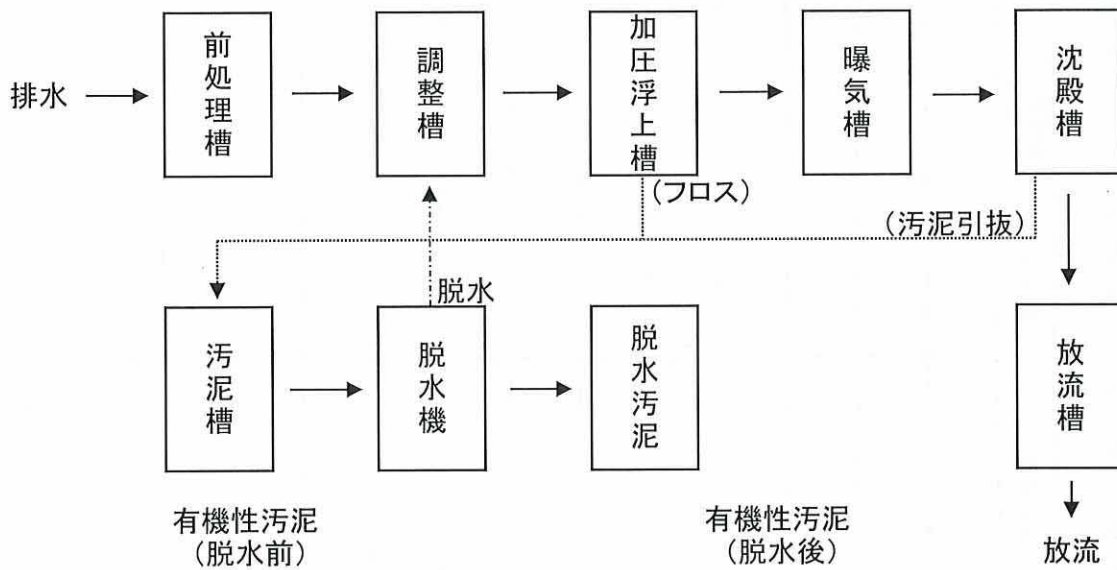


図2 排水処理フローシート

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

統括責任者	所 属：宮崎食品工場	工場長職・氏名：小西 昌夫
廃棄物担当	組織名：設備管理課	課長職・氏名：平山 明
	組織人数：7人	
役 割	工場環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理に関する検討 ○ 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長—工場長 ・委員—関連部署部課長 ・事務局—設備管理課
	廃棄物処理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 工場の廃棄物管理規程の策定・改廃 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当課長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理表の交付・管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に対する教育・啓発 ○ その他関係する事項

